

調理実習台

取扱説明書

このたびは調理実習台をお買いあげいただき、ありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をお読みいただき、安全にご使用くださいますようお願いいたします。

⑧

この取扱説明書は加熱機器や電気製品などの専用の取扱説明書と一緒に、いつでも使える場所に大切に保管してください。

目次

c o n t e n t s

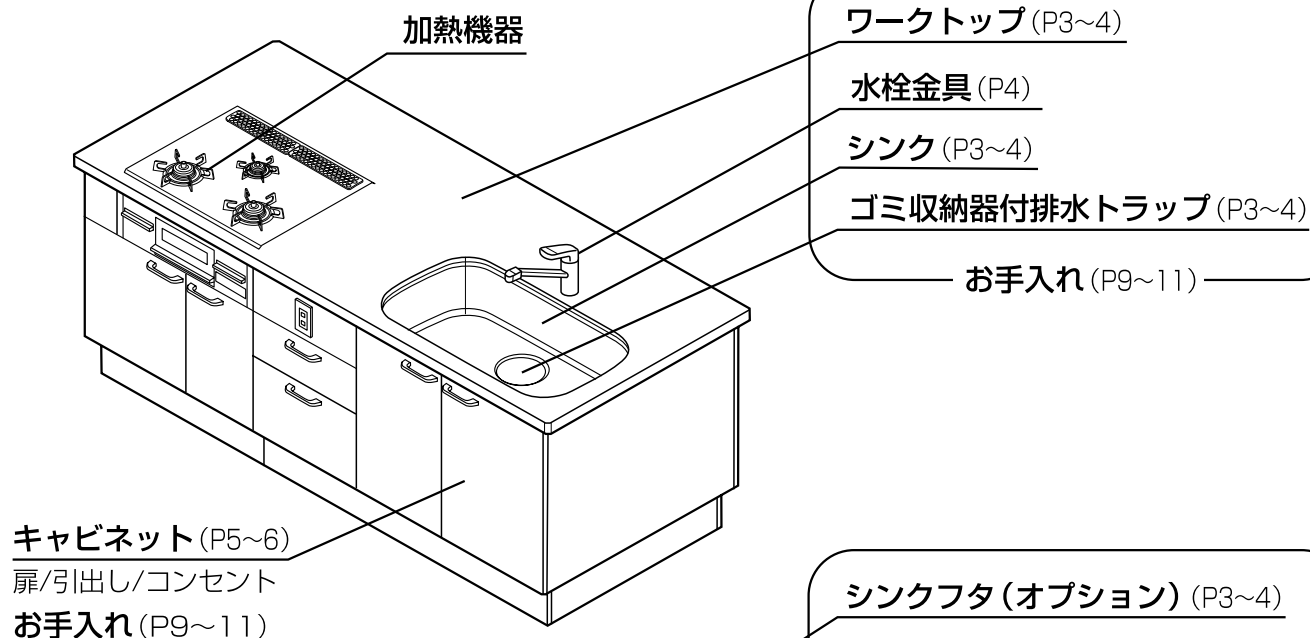
各部の名称	2
安全に関するご注意	3～6
使い方	7～8
長くお使いいただくために・お手入れ方法	9～11
長くお使いいただくために・調整方法	12
故障・修理について	13
アフターサービスについて	14



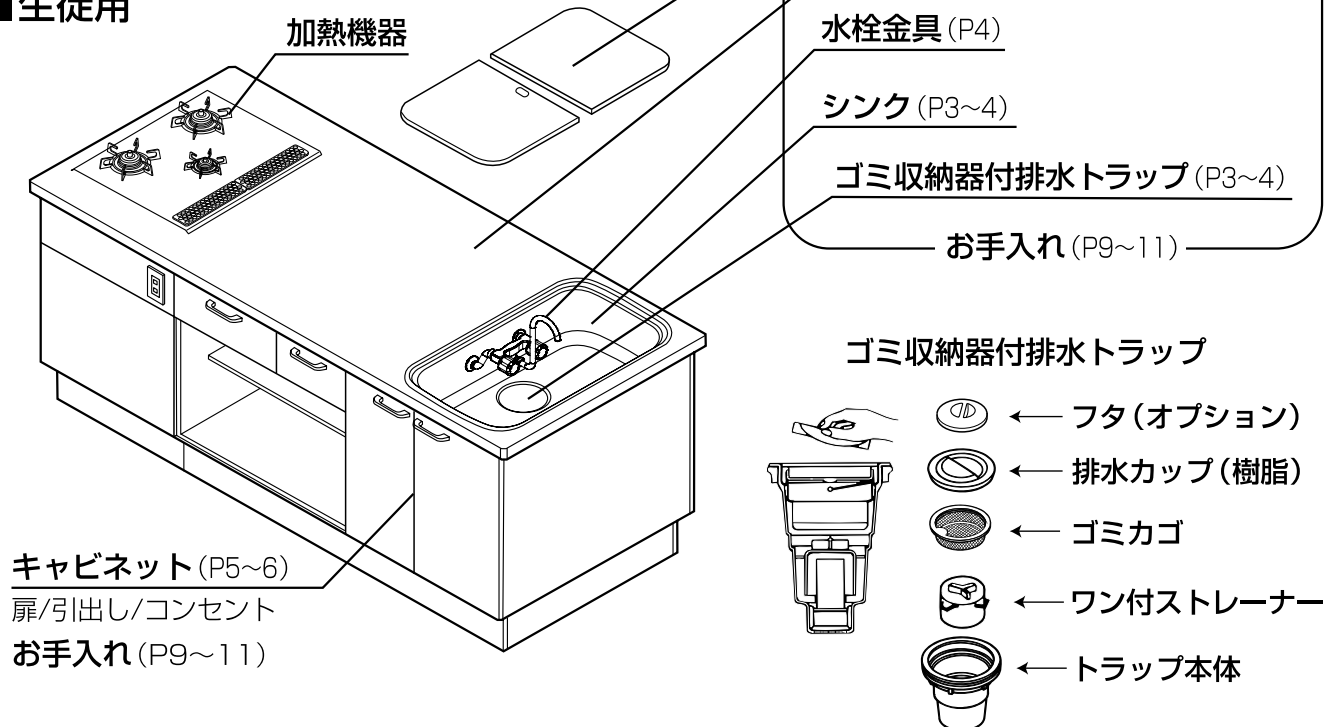
各部の名称

下図はレイアウトの参考図です。
レイアウトによって左右勝手などが図と異なります。

■教師用



■生徒用



ワークトップ・シンク・シンクフタの素材はステンレスです。
本部材のホルムアルデヒド発散区分はF☆☆☆☆です。

- 電気・ガス・水を使用する機器や特殊な機能を持った製品には専用の取扱説明書があります。これらについては専用の取扱説明書を併せてご使用ください。
- この説明書は使用上支障のない範囲で略図や写真を使用して説明しています。お客さまの商品と一部異なる場合もありますので、ご不明の点はお買いあげいただいた販売店か、お客さま相談センターまでご相談ください。

安全に関するご注意

ご使用の前に、この「安全上の注意」をお読みの上、正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
 - お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
 - 調理実習台本体以外の機器等には専用の取扱説明書があります。必ずお読みください。
 - お手入れに使用する洗剤・薬剤は容器等に記載されている注意事項・禁止事項を必ずお読みください。
- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。



警告

この表示を実行しない場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を実行しない場合、傷害を負う可能性と物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。



この記号は気をつけていただきたいことを「注意喚起」するものです。



この記号は「禁止行為」であることを告げるものです。



この記号は「必ず実行」していただきたいことを告げるものです。

警告

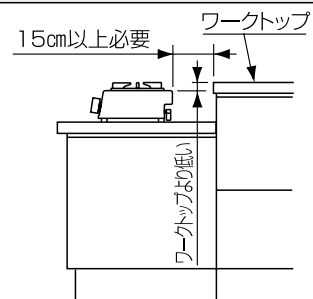
ワークトップ



禁止

調理台のワークトップより低いガスコンロを使用しない。

火災の原因になることがあります。
やむをえずワークトップより低いガスコンロを使用する場合は、調理台側面との距離を15cm以上離すことが必要です。



注意

ワークトップ・シンク・ゴミ収納器付排水トラップ・シンクフタ(オプション)



禁止

加熱機器の使用中・使用直後は、加熱機器周辺に手を触れない。

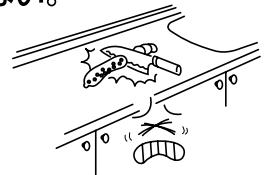
加熱機器周辺の表面温度が高くなっているので、ヤケドをするおそれがあります。



禁止

包丁などを直接使用しない。

包丁やナイフなどの刃物をワークトップに直接あてると、表面にキズがつきます。



禁止

ナベなどを引きずらない。

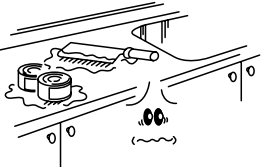
ワークトップの上でナベや大皿などを引きずると、表面にキズがつきますので避けてください。



禁止

ぬれた鉄製品を放置しない。

ぬれた包丁や缶は長時間放置しないでください。ぬれた鉄製品がサビると、そのサビがステンレスに移りサビさせます。



⚠ 注意

ワークトップ・シンク・ゴミ収納器付排水トラップ・シンクフタ (オプション)



禁止

衝撃を与えない。

ナベなど硬い物・重たい物を落とすと、ワークトップ表面がキズつき、または変形します。



禁止

高温の油や熱湯を流さない。

排水装置や排水パイプは樹脂部品なので、傷んで水もれの原因となります。ゆでこぼしは水を流しながらおこなってください。



禁止

市販の排水口用水切りネットを使用しない。

市販の排水口用水切りネットを使用すると、ゴミカゴの詰まりの原因になったり、排水能力が低下します。



禁止

粘度のあるものや、油類を流さない。

おかゆや調理で残った油などを流すと固まってしまい、トラップの詰まりの原因になります。誤って流してしまった場合は、お湯を鍋等にいっぱいにくみ、数回流してください。



禁止

シンクフタの上に重量物を置かない。

シンクフタが変形します。



禁止

製品を分解しない。

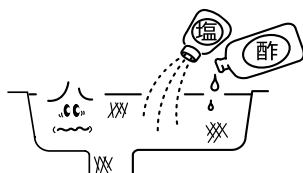
製品の耐久性の低下や使用上の不具合の原因になります。



必ず実行

塩分や洗剤・漂白剤などはすぐに洗い流す。

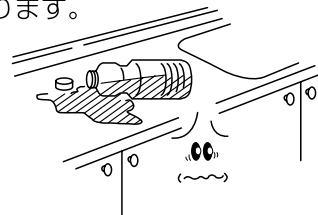
醤油・食酢・調味料・梅干しなど塩分の強いものや洗剤・漂白剤などはすぐに洗い流してください。放置するとサビや変色の原因になります。



必ず実行

汚れはすぐふきとる。

醤油・食酢・煮こぼれ・調味料などの汚れや、またお手入れの際の洗剤・漂白剤などはすぐに洗い流してください。たまった水はふきとってください。放置すると汚れが落ちにくくなり、ワークトップの変色の原因になります。ステンレストップの場合はサビの原因になります。



必ず実行

シンクに三角コーナーなどを設置する場合はゴミをこまめに捨てる。

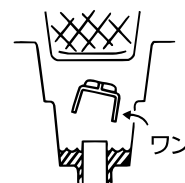
シンクに汚れが垂れた場合はすぐに水で洗い流す。



必ず実行

水が凍った場合

冬期や寒冷地で、トラップ部の中にある水が凍ってしまう場合には、氷を溶かして使用してください。



必ず実行

排水トラップ、ゴミカゴ、ワン付ストレーナーを使用する。

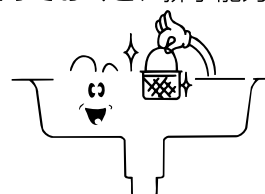
排水カップ、ゴミカゴ、ワン付ストレーナーを取付けずに排水をおこなうと、トラップ内にゴミ等が流入し、トラップの詰まりの原因になります。



必ず実行

ゴミはこまめに捨てる。

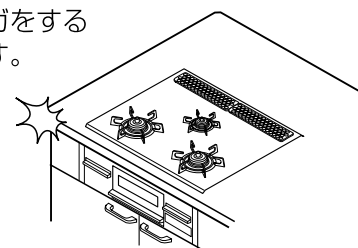
ゴミカゴにたまったゴミは、すぐに捨ててください。ゴミカゴにゴミをためておくと、排水能力が低下し、ゴミが腐って臭気の原因になります。



注意

ワークトップの角に頭や身体をぶつけないように注意する。

思いがけないケガをするおそれがあります。



⚠ 注意

水栓金具

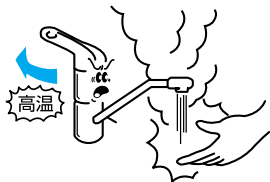


必ず実行

混合水栓金具を使用する時は、必ず水を先に出す。

水栓金具及び熱湯でヤケドをするおそれがあります。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

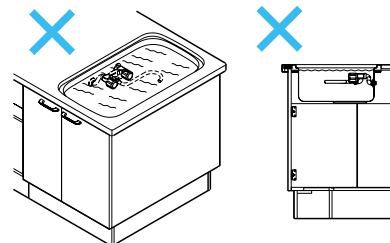
※給湯温度は、60℃以下
でご使用ください。



禁止

吐水口を水中に没するような使い方をしないでください。

逆流した汚水を飲用した場合、健康を損なう恐れがあります。



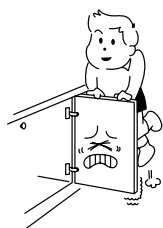
扉・引出し



禁止

扉や取っ手に乗らない。

扉に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。丁番がこわれると扉が落下してケガをするおそれがあります。特に、お子さまにはご注意ください。



禁止

製品を分解しない。

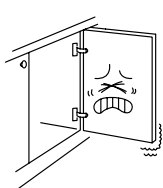
製品の耐久性の低下や使用上の不具合の原因になります。



禁止

扉を大きく開けすぎない。

丁番が外れ、ケガをするおそれがあります。



必ず実行

開閉は一段ずつ行う。

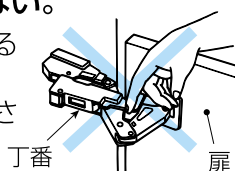
上下または左右の引出しをともに開閉すると鏡板同士がこすれて扉にキズがつくおそれがあります。



禁止

扉開閉時に丁番にさわらない。

丁番に指をはさんでケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。



必ず実行

扉に水がかかったらすみやかにふきとる。

長時間ぬれたまま放置すると、ふくれたり剥がれるおそれがあります。



禁止

扉にテープを貼らない。

扉にセロハンテープやガムテープを貼ると、粘着剤で表面が侵されます。また、剥がした後は汚れが残るおそれがあります。



必ず実行

扉をやさしく開閉する。

扉は軽い力で開閉できます。あまり強い力をいれずに開閉してください。

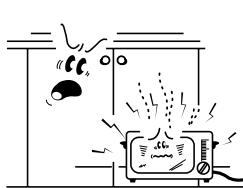
扉は90度以上開きます。隣のキャビネットや壁などに当たらないように気をつけてください。扉や取っ手にキズがつきます。



禁止

扉を閉めたキャビネット内で電気製品を使わない。

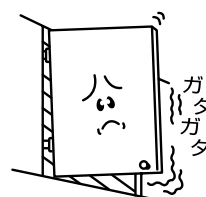
電気製品が故障したり火災のおそれがあります。



必ず実行

扉が傾いたりガタついている時は、丁番のネジをしめなおす。

扉が落ちてケガをするおそれがあります。



禁止

引出しに乗らない。

引出しを踏み台代わりに使ったり、お子さまが乗って遊んだりすると、落下してケガをする危険があります。絶対に乗らないでください。



⚠ 注意

コンセント



禁止

コンセント使用時は表示電力(1500W)を超えない。

発熱により火災の原因になることがあります。



禁止

コンセントに水をかけない。

漏電やショートしたり火災のおそれがあります。



禁止

たこ足配線をしない。

表示電力をこえ、発熱により火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグおよびコンセントに、ほこりが付着している場合は、乾いた布などでよくふく。

火災の原因になることがあります。



禁止

濡れた手でコンセントや電源プラグに触れない。

感電のおそれがあります。

引出しの最大積載重量

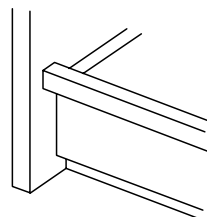


必ず実行

最大積載重量を守って安全にご使用ください。

また、のせすぎたり、重たいものを一カ所に集中させないでください。引出しの開閉に支障をきたすおそれがあります。

最大積載荷重：10kg



棚板、キャビネットの最大積載重量



必ず実行

棚板・キャビネットの最大積載重量を守る。

棚板・キャビネットの最大積載重量は20kgです。これをこえると棚板やキャビネットが変形するおそれがあります。

間口の広い棚板に重量物を多く収納すると、最大積載重量をこえることがあります。



必ず実行

のせすぎたり、重たい物を一カ所に集中させない。

棚板やキャビネットが変形するおそれがあります。重たい物や倒れやすい物はキャビネットの下(棚板の下)に置いてください。

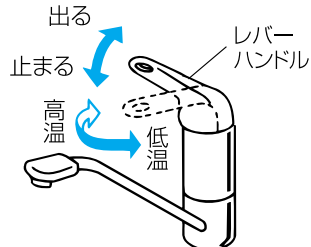
使い方

水栓金具（専用の取扱説明書を必ずお読みください。）

■水栓金具の使い方

●レバーハンドルの操作

ゆっくり動かしてください。急に操作すると音が出たり、温度が急に変わります。



●水量の調節

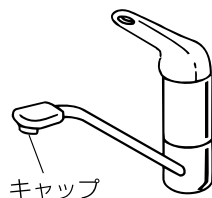
レバーハンドルを上げると水が出て、下げると水が止まります。水量はレバーハンドルを上げるにしたがって多くなります。

●温度の調節

レバーハンドルを左方向に回すと温度が上がり、右方向に回すと下がります。

ご使用にあたってのお願い

吐水口キャップがつまると水量が少なくなったりします。時々キャップをはずし、網につまったゴミを取除いてください。



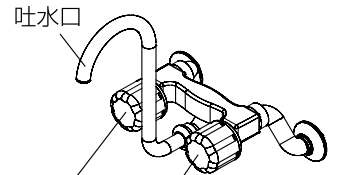
●凍結のおそれがある場合

付属の専用取扱説明書に従って処置を行ってください。

■水栓金具の使い方（折りたたみ水栓）

●ハンドルの操作

ゆっくり回してください。ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり水漏れなどのおそれがあります。



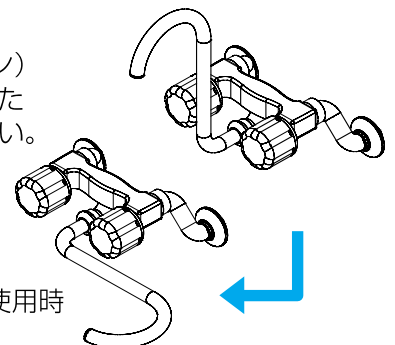
●温度の調整

湯を使用する時は水側ハンドルを開いてから徐々に湯側ハンドルを開き、温度および吐水量を調節してください。

湯側ハンドル(赤) 水側ハンドル(青)

●折りたたみ方

シンクフタ（オプション）
使用時は吐水口を折りたたんで使用してください。

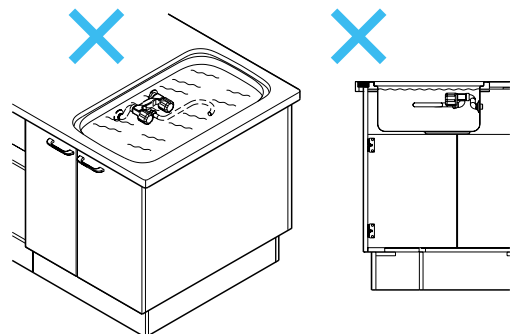


⚠ 注意



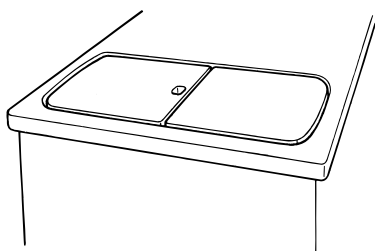
吐水口を水中に没するような使い方をしないでください。

禁止 逆流した汚水を飲用した場合、健康を損なう恐れがあります。

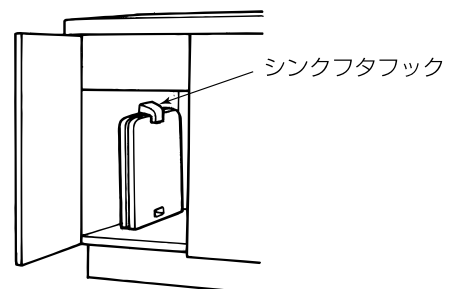


シンクフタ（オプション）

シンクにフタをするとワークトップがフラットになり幅広く使用できます。



使用しないときはキャビネット内のシンクフタフックに立てかけ収納してください。



収納するときは水分をよくふきとってから収納してください。

引出し

■引出し

- 引出しは取手の中央付近を持って開け閉めしてください。
- 外し方、はめ方 P12調整方法を参照ください。

コンセント(シャッター付2口コンセント)

コンセントは合わせて1500Wまでです。
安全性などを考慮したシャッター付コンセントです。

長くお使いいただくために・お手入れ方法

洗剤・お手入れ道具

■洗剤

洗剤はおもに界面活性剤のはたらきで汚れを科学的に分解し落とします。
クレンザーなどのみがき粉は科学的な分解で落ちない汚れを落とすために使用します。
汚れの種類にあわせて使いわけてください。
洗剤の使用・使用後は十分に換気してください。



台所用中性洗剤

ワークトップまわりやキャビネットまわりなどいろいろな用途で活用します。



クリームクレンザー

ワークトップで洗剤では落ちなくなってしまった汚れを落とすために使用します。

■お掃除道具

ワークトップやキャビネットに合わないお掃除道具を使うと、表面が傷んだり、故障の原因になります。
部位ごとに適した道具を揃えてください。



スポンジ

ワークトップまわりやキャビネットまわりなどいろいろな用途で活用します。



柔らかい布

残った水分や汚れをふき取ったりするときに使います。

⚠ 警告



禁止

塩素系洗剤と酸素系洗剤を混ぜて使用しない。

有毒なガスが発生します。絶対にやめてください。
前後使用の場合もご注意ください。



⚠ 注意



禁止

排水口にシンナーなどの溶剤や薬品類を流さない。

排水部を傷めて水漏れの原因となります。
また、シンナーなどの有機溶剤を下水に流すことは法律で禁止されてますので絶対に行わないでください。

長くお使いいただくために・お手入れ方法

ワークトップのお手入れ方法

■使用後のお手入れ方法

1. 布またはスポンジに、台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。
ひどい汚れは、クリームクレンザーをつけて磨いてください。
2. トップに残った洗剤を、固く絞った布でふきとってください。
3. 水分をふきあげてください。



■こんなときは

- 塩素系洗剤やしょう油などが付着した
→放置せず、充分に水洗いしてください。
- もらいサビが発生した
→クリームクレンザーで磨いてください。
- 水アカがついた
→クリームクレンザーで磨いてください。



水アカはこびりついてしまうと、取り除くのが大変になるので、ご使用後は水分をふきあげてください。
磨くときには表面のヘアラインの筋目に沿って平行に均等の力で磨いてください。

シンクのお手入れ方法

■使用後のお手入れ方法

1. 布またはスポンジに台所用中性洗剤をつけて洗ってください。
2. 洗い終わったら水で流してください。
3. 乾いたやわらかい布で水分をふきあげてください。

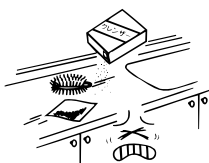
⚠ 注意



禁止

金属タワシ等の使用禁止。

金属タワシ・ナイロンタワシ・粒子の粗い粉末クレンザーを使用しないでください。目には見えない細かいキズをつけます。



禁止

薬品類の使用禁止。

酸・アルカリ類の薬品は絶対に使用しないでください。
サビや変色のおそれがあります。
塩素系洗剤を使用するとステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になりますので十分ご注意ください。



禁止

ヌメリ取り剤の使用禁止。

市販のゴミかご用のヌメリ取り剤は塩素ガスを発生させ、シンクや周辺のステンレスがサビる場合があります。使用しないでください。



ヌメリ取り剤



必ず実行

砂や泥を洗い流す。

洗い流さずに作業をするとキズつくおそれがあります。

★ステンレスについて

- ステンレスは、サビにくい金属ですが、塩素系洗剤やしょう油などの塩分の高いものが付着したまま放置するとサビの原因となります。
- 空き缶などの金属類を置いたままにすると、これらがサビて、そのサビがステンレスをサビさせることがあります。これをもらいサビといいます。
- 水滴に含まれるカルシウム分などによって、白い水アカが残ることがあります。

長くお使いいただくために・お手入れ方法

ゴミ収納器付排水トラップのお手入れ方法

■使用後のお手入れ

1. 排水カップ・ゴミカゴをお湯または台所用中性洗剤で洗います。
2. 洗い終わったら水で流してください。
3. 各部品を元に戻します。

 ← フタ(オプション)

 ← 排水カップ(樹脂)

■定期的なお手入れ

1. 排水カップ・ゴミカゴ・ワンを除外し、お湯または台所用中性洗剤で洗います。
2. トラップ本体をお湯または台所用中性洗剤で洗います。
3. 洗い終わったら水で流してください。
4. 各部品を元に戻します。
5. 最後に少量の水を流してワンに水を溜めます。

 ← ゴミカゴ

 ← ワン付ストレーナー

 ← トラップ本体

■排水の流れが悪くなったら

1. ワンを除外してトラップ本体に溜まったものを取除きます。
2. ワン・トラップ本体を洗います。
3. 各部品を元に戻します。

扉のお手入れ方法

- 通常のお手入れは柔らかい布でやさしく空ふきしてください。

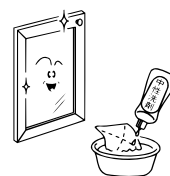
濡れたら(汚れたら)すぐふき取る。 強くこすらない。

必ず実行 特にツヤのある扉は、表面にキズをつけいためてしまうことがあるので注意してください。

- 汚れがひどい部分は薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で、こすらずに押し当てるようにして落としてください。扉の表面に洗剤を残さないように固くしぼった柔らかい布で水拭きし、乾いた柔らかい布でやさしく空ふきしてください。



注意 中性洗剤分が残ると扉の表面をいため変色のおそれがあります。



! 注意



禁止 洗剤は原液のまま使わない。

また粉末クレンザーなど研磨力のある洗剤・アルカリ性洗剤・シンナー・アルコールなど溶剤を使わない。

キズを付けてしまったり、変色の原因になります。

キャビネットのお手入れ方法

- キャビネットの汚れは布かスポンジに台所用中性洗剤をつけてふき取ります。洗剤は水を含んだ布でふき取り、乾いた布で空ふきしてください。隅にたまったゴミはブラシで取除いてください。油・調味料・食品の汚れを放置しているとサビやカビの原因になりますので早めにお手入れしてください。



引出しのお手入れ方法

- 引出しは汚れが溜まりやすい所です。ときどき除外して布やスポンジに台所用中性洗剤をつけて汚れをふきとります。洗剤は水を含んだ布でふきとり、乾いた布で空ふきしてください。



取手のお手入れ方法

- 布やスポンジに中性洗剤をつけて汚れをふきとります。洗剤は水を含んだ布でふき取り、乾いた布で空ふきしてください。

! 注意



禁止 中性洗剤以外は使わない。

家具用ワックスやシンナー、アルコール等の溶剤または研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。変色や光沢をなくしたりして、表面をいためます。

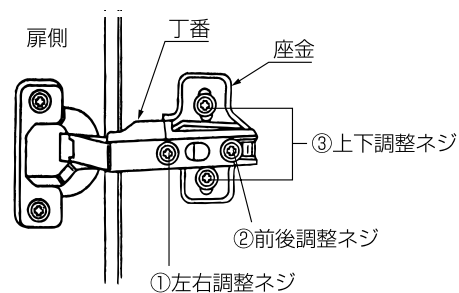
長くお使いいただくために・お手入れ方法

扉の調整・取外し方

■扉の調整

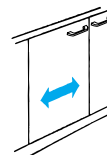
扉は左右や前後のズレがないように取り付けています。お客さまに調整していただく必要はありませんが、お使いになっていて扉がガタついたり微調整が必要な時は丁番①②③のネジで行ってください。

※②・③のネジをゆるめすぎると扉が外れることがありますのでご注意ください。



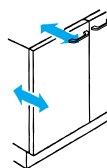
●左右調整したいとき

①の左右調整ネジを左にまわすと丁番側に移動し、右にまわすと丁番と反対側に移動します。



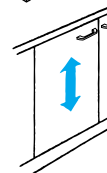
●前後調整したいとき

前後の傾きは②の前後調整ネジをゆるめて、丁番を前後に移動します。



●上下調整したいとき

上下に扉が片寄っている場合は③の上下調整ネジをゆるめて座金の位置を調整します。（上下2本の丁番を調整してください。）



●扉にガタツキが発生した場合

②・③のネジを右側に回して固く締め付けます。



■扉の取り外し

②の前後調整ネジをゆるめます。

取り外される際は扉をしっかり支えながら行い、扉やキャビネットをキズつけないよう気をつけてください。

■調整後の確認



扉調整後は、全ての丁番の②と③のネジが締め付けられていることを確認してください。

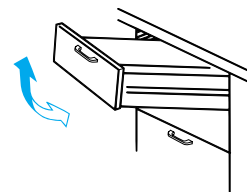
必ず実行

引出しの取外し方、取付け方

■引出の取外し、取付け

完全に引出した状態で持ち上げ、そのまま引出して外します。

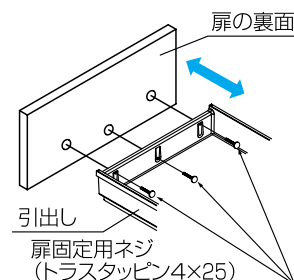
取付けは取外しの逆の操作をしてください。



■扉の取外し方、取付け方

①扉固定ネジを外すと扉が外れます。

②引出し側の穴と扉側の穴を合わせて扉固定ネジで固定します。

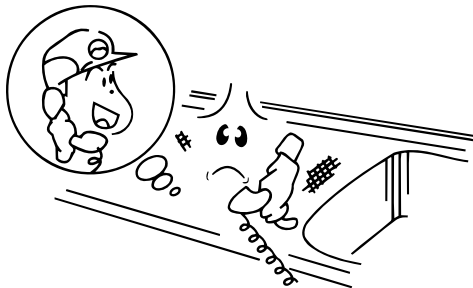


故障・修理について

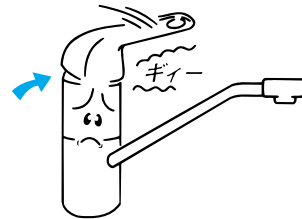
製品には万全を尽くしておりますが、長い間使用していますと多少の不具合が出る場合があります。その場合は以下のように行ってください。

ワークトップ・水栓金具・扉

- ステンレストップ、扉についた細かいキズや変色には修理できるものもあります。
お早めに、お買いあげいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。



- 水栓レバーは長い期間使用すると、レバー操作時の抵抗が大きくなります。これは故障ではなく、水垢などによるグリースの消耗が原因です。お買いあげいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。

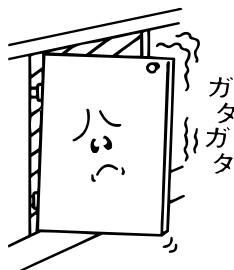


キャビネット

■扉がガタつく

扉の吊り元の丁番がゆるんでいませんか？

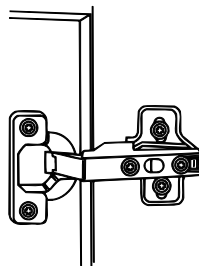
ゆるんでいたら締め直してください。ネジ調整が必要です。扉の調整の説明（P12）をよく読んでください。



■扉が外れた

扉の吊り元の丁番が外れていませんか？

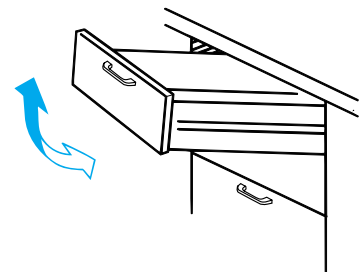
前後調整ネジがゆるんでいたら、締め直してください。扉の取り外しの説明（P12）をよく読んでください。



■引出しの動きが悪い

引出しが外れていませんか？

いったんキャビネットから引出しを外して、もう一度入れ直してください。引出しの外し方の説明（P12）をよく読んでください。



以上のことをお調べのうえ、なお不具合がある場合はお買いあげいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。

- その他不具合を感じましたら、修理受付センターまでご連絡ください。
（裏表紙を参照してください）

本製品のホルムアルデヒド発散区分

表 示 内 容			
1 商品名	調理実習台	6	ホルムアルデヒド 発散材料区分詳細
2 企業名	株式会社 LIXIL		
3 ホルムアルデヒド 発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F☆☆☆☆		
4 表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチン・バス工業会表示指針による	7	本表示に関する お問い合わせ先
5 製造番号又は年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認ください。		
			PB F☆☆☆☆ MDF F☆☆☆☆ 合板 F☆☆☆☆ 接着剤 F☆☆☆☆ お客様相談センターまで ☎ 0120-1905-21

アフターサービスについて

ご不審な点や故障のおきた際には、お買い求めいただいた販売店か修理受付センターまでご連絡ください。

1 点検・修理を依頼されるとき

- 商品に不具合修理がありましたら、再度、本説明書の点検・修理のページをお読みいただき、一度調整してみてください。
- 調整しても直らない場合や、記載している以外の不具合がある場合は、ご自分で修理しないで、お買い求めいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。



警告

修理技術者以外の方は絶対に取付を行わないでください。
思わぬ事故が発生しケガをするおそれがあります。

■お申し込みの際には、次のことをご確認ください。

- 保証書をご覧になって保証期間中か、保証期間を経過しているかを確認してください。

保証期間中の修理

修理に関しては必ず保証書をご提示ください。
保証期間中は保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料・部品代です。

連絡していただきたい内容

1. 物件名・おところ・電話番号

2. 商品名・品番

品番と製造番号及び邸Naもあわせてお知らせください。

(キャビネット内側に貼付している「検査証」に記載されています。)

調理実習台本体以外の組み込み機器などについては、専用取扱説明書と製品本体に品名表示があります。

3. 故障内容

不具合の状況をできるだけ詳しくお知らせください。

4. ご訪問希望日

当社は、当社がお客様から直接ご提供いただいたお客様の個人情報、流通業者様等から間接的に取得いたしましたお客様の個人情報および流通業者様等の個人情報を、アフターメンテナンス等、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご参照ください。

2 サービス部品(補修用性能部品)について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。この保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。

- *補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- *一部の部品(例えば、キャビネットの扉、ワークトップ)につきまちは、同一部品で修理できない場合がありますので、ご了承ください。
- *調理実習台以外の組み込み機器の補修用性能部品最低保有期間については、それぞれの専用取扱説明書をご覧ください。

3 廃棄処分について

廃棄処分の際は必ず許可を受けた専門業者に依頼してください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店または取扱説明書記載の修理受付センターに修理をご依頼ください。

* 品番・取付日・物件名・販売店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品 名 調理実習台			
保証期間		取付日より 1 年 (注1) (注2)	取付日
物 件 名	物 件 名		販売店名
	住 所	() - () -	

(注1) 取付日とは、

- ・改修工事の場合は、改修部分の工事の完了日とします。
- ・新築工事の場合は、建築物が建築主さまへ引渡しされた日とします。
- ・建築主様が直に取付される場合は、購入日とします。

(注2) レンジフードや加熱機器、食器洗い乾燥機などの機能機器に関する保証期間、保証条件などは、各々の保証書に関する書面に従います。

- ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。

無効

無料修理規定（保証規定）

1. 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無償修理をお受けになる場合、お買い求めの販売店または取扱説明書に記載の修理受付センターにご依頼ください。
3. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
 - (1) 指定業者や取付設置説明書等に基づかない取付に起因する不具合
 - (2) 適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
 - (3) 専門業者以外による移動・修理・分解、加工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
 - (4) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - (5) 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
 - (6) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気循環及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
 - (7) 小動物（犬、猫、ねずみ、小鳥、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
 - (8) 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷
 - (9) 戦争、暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
 - (10) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
 - (11) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまり等による故障および損傷
 - (12) 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（*水道水とは水道事業体が供給する上水をいう。）
 - (13) 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - (14) 本書のお取付日、物件名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買求めの販売店または取扱説明書に記載の修理受付センターにお問い合わせください。
6. 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後、6 年です。

《個人情報の取り扱い》

当社は、当社がお客様から直接ご提供いただいたお客様の個人情報、流通業者様等から間接的に取得いたしましたお客様の個人情報および流通業者様等の個人情報を、アフターメンテナンス等、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご参照ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、下記ホームページまで

<http://www.lixil.co.jp/>

■修理のご依頼は、LIXIL 修理受付センターへ

TEL. ☎ 0120-000-072

FAX. 0570-027-027

受付時間／9:00～19:00（年末年始の休みは除く）

■使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは、お客さま相談センターへ

TEL. ☎ 0120-190-521

FAX. 0570-020-828

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）
